

## 8. 新型コロナウイルス（COVID-19）の消毒法

新型コロナウイルス（COVID-19）はエンベロープを有するプラス一本鎖RNAウイルスで、主な感染経路は、他の呼吸器ウイルスと同様に飛沫またはエアロゾル感染と接触感染である。患者の体液や排泄物には次亜塩素酸ナトリウムやエタノール等を用いる。銅製小物やリネン等の消毒には、熱水（80℃・10分間等）が最も適している。<sup>1)</sup>

空気中のウイルス対策は、定期的な換気を行う。消毒薬の空間噴霧は推奨されていない。<sup>2)</sup>

### 【手指の消毒法】<sup>3)</sup>

#### （1）手洗い

手指についたウイルスは、洗い流すことが最も重要である。手指に付着しているウイルスの数は、流水による15秒間の手洗いだけで1/100に、石けんやハンドソープで10秒間もみ洗いし、流水で15秒間すすぐと1万分の1に減る。手洗い後、さらに消毒液を使用する必要はない。

（手洗い方法は、p3を参照）

#### （2）濃度70%以上95%以下のエタノール：モノにも使用できる

手洗いがすぐにできない状況では、エタノール消毒液も有効である。手指など人体に用いる場合は、「医薬品」または「医薬部外品」を使用する。

濃度70%以上95%以下\*のエタノールを手指によく擦り込む。モノの場合は、対象物を清拭する。

※ 濃度60%台のエタノールでも一定の有効性があると考えられる報告がある。

70%以上のエタノールが入手困難な場合には、60%台のエタノールでの消毒も可能である。

### 【モノ（テーブル、ドア等）の消毒法】<sup>3)</sup>

WHOは、「新型コロナウイルスは、プラスチックの表面では最大72時間、ボール紙では最大24時間生存する」としている。

#### （1）熱水

食器や箸等は、熱水でウイルスを死滅させることが可能である。熱水に浸漬する（80℃・10分間）。

#### （2）塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）

市販の家庭用漂白剤（商品によって濃度が異なる）を、次亜塩素酸ナトリウム濃度が0.05%になるように薄めて清拭する。その後、水拭きをする。酸性のものと混ぜると、塩素ガスを発生して危険である。

（希釈方法は、p22を参照）

### (3) 洗剤（一部の界面活性剤）

独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）の検証では、以下の9種類の界面活性剤がCOVID-19に有効であることが確認されており、下記成分が含まれた洗剤を使用する。

- ・直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム（0.1%以上）
- ・アルキルグリコシド（0.1%以上）
- ・アルキルアミノオキシド（0.05%以上）
- ・塩化ベンザルコニウム（0.05%以上）
- ・塩化ベンゼトニウム（0.05%以上）
- ・塩化ジアルキルジメチルアンモニウム（0.01%以上）
- ・ポリオキシエチレンアルキルエーテル（0.2%以上）
- ・純石けん分（脂肪酸カリウム）（0.24%以上）
- ・純石けん分（脂肪酸ナトリウム）（0.22%以上）

**(家具用洗剤の場合)** 製品に記載された使用方法に従ってそのまま使用する。

**(台所用洗剤の場合)** 薄めて使用する。

COVID-19に有効な界面活性剤を含む洗剤リストや洗剤の使い方が、NITEのウェブサイトで公開されている（製品リストの更新は2021年10月31日で停止）。

<https://www.nite.go.jp/imformation/koronataisaku20200522.html>

### (4) 次亜塩素酸水（p30を参照）

消毒したいモノの汚れをあらかじめ落としておく。

**(清拭の場合)** 有効塩素濃度80ppm以上（ジクロロイソシアヌール酸ナトリウムを水に溶かした製品の場合は100ppm以上）の次亜塩素酸水を使い、消毒したいモノに対して十分な量で濡らした後、きれいな布やペーパーで拭き取る。

**(流水でかけ流す場合)** 生成されたばかりの有効塩素濃度35ppm以上の次亜塩素酸水で消毒したいモノに対して流水掛け流しを行う。掛け流し後、きれいな布やペーパーで拭き取る。

$$\underline{1 \text{ ppm} = 1 \text{ mg/L}}$$

### (5) 亜塩素酸水（食品添加物（殺菌料）として使用されている）

**(清拭の場合)** 遊離塩素濃度5ppm（キッチン、バス、トイレ等には、遊離塩素濃度10ppm以上）の亜塩素酸水をペーパータオル等に染み込ませてから対象物を清拭（拭いた後数分間以上置く）。その後、水気を拭き取って乾燥させる。

**(浸漬の場合)** 対象物を遊離塩素濃度5ppm（キッチン、バス、トイレ等には、遊離塩素濃度10ppm）以上の亜塩素酸水に浸漬し（数分間以上浸す）、取り出した後に水気を拭き取って乾燥させる。

**(排泄物や嘔吐物等の汚物がある場合)** 汚物をペーパータオル等で静かに拭き取った上で、汚物のあった場所にペーパータオル等を敷き、その上に遊離塩素濃度100ppm以上の亜塩素酸水をまく（数分間以上置く）。ペーパータオル等を回収後、残った亜塩素酸水を拭き取って乾燥させる。

$$\underline{1 \text{ ppm} = 1 \text{ mg/L}}$$